

国連の廃棄物削減の世界先進 20 都市に 日本から唯一、横浜市が選出！

国連のアントニオ・グテーレス事務総長が設置する「ごみゼロ諮問委員会」(Advisory Board on Zero Waste)^{※1}は、世界的に模範となる廃棄物削減・循環型都市の実践例を紹介し、他都市への横展開を促すため、先進 20 都市「20 Cities Towards Zero Waste」の募集・選定を進めてきました。

このたび、ニューヨークの国連本部で行われたごみゼロ国際デー記念行事^{※2}(現地時間3月 27 日)で 20 都市^{※3}が発表され、日本からは唯一横浜市が選出されました。あわせて、国連のウェブサイトで、横浜市が進めてきたグリーン社会に向けた政策や取組が国際的な好事例として取り上げられました。

1 横浜の選定ポイント・背景

横浜市は、ごみゼロ諮問委員会が世界の都市の廃棄物分野における政策・取組を、持続可能性、市民参加、パートナーシップ、技術革新など 9 つの項目^{※4}で評価する中で、極めて優れた都市として選ばれました。特に、市民・事業者の皆様の協力の下、人口が約 10%増加する中でも廃棄物を 50%削減してきた実績や、環境にやさしい市民・事業者の革新的なライフスタイルを発信するプロジェクト (STYLE100) など、グリーン社会実現に向けた政策・取組が、高い評価を受けました。

横浜市はこれまで、2025 年 8 月に山中市長がグテーレス国連事務総長に直接お会いし、横浜のグリーン施策を紹介するなど、国連をはじめ国際社会に都市の声を積極的に届けています。

<ごみゼロ諮問委員会のコメント>

「横浜市は、市民と行政の協力を通じて経済成長と廃棄物削減の両立という、世界的に独自の成果を達成しており、都市の多様性、大規模な人口、強い市民参加を活かして、真に循環型な経済を推進していく先導を続けています。」

2 山中 竹春 横浜市長のコメント

横浜市が、国連事務総長のごみゼロ諮問委員会による「20 Cities Towards Zero Waste」に日本で唯一、選出されたことを、大変光栄に思います。

このたびの国連の選出により、横浜市が進めてきた政策が国際社会に広く共有され、世界の課題解決に一層貢献できることを期待しています。

横浜市は、今回の選出を契機として、世界の都市とともに循環型社会の実現に向けた取組を一層加速し、「横浜グリーンエクスポ」においても、グリーンな技術や地球にやさしいライフスタイルを横浜から世界へと力強く発信していきます。これからも市民の皆様のご共感と行動を後押しし、その取組の輪を国内外へと広げ、アジア太平洋地域を代表する環境先進都市として、循環型社会への大きなうねりを創り出していきます。

裏面あり

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



※1【国連事務総長のごみゼロ諮問委員会】

当該委員会は、国連総会決議に基づき 2023 年に設立された 12 人の専門家で構成される委員会であり、世界の廃棄物削減と循環型社会への移行に向けて、施策の推進、啓発、成功事例の発信を行っています。事務局は、国連人間居住計画（UN-Habitat）と国連環境計画（UNEP）が共同で担っています。

このたび、同委員会の取組の一環として先進 20 都市「20 Cities Towards Zero Waste」が初めて選定されました。

国連事務総長のごみゼロ諮問委員会ホームページ（英語のみ）

[〈https://unhabitat.org/advisoryboardzerowaste〉](https://unhabitat.org/advisoryboardzerowaste)



※2【ごみゼロ国際デー（International Day of Zero Waste）記念行事】

ごみゼロ国際デーは、2022 年 12 月の国連総会の決議により設立され、毎年 3 月 30 日に実施される、廃棄物削減と持続可能な消費・生産を促進するための国連公式記念日です。年ごとにテーマが設定され、2026 年は「食品廃棄物」に焦点が当てられています。

2026 年 3 月 27 日には、ニューヨークの国連本部でごみゼロ国際デー記念行事として、ハイレベル会合が開催され、ごみゼロ諮問委員会のカルロス・シルバ・フィリョ委員が「20 Cities Towards Zero Waste」を発表しました。



ハイレベル会合におけるアントニオ・グテーレス
国連事務総長のビデオメッセージ



「20 Cities Towards Zero Waste」が
発表されたハイレベル会合の様子

※3【先進 20 都市「20 Cities Towards Zero Waste」】

| | 国名 | 都市名 | | 国名 | 都市名 |
|----|-------|----------|----|-------|-----------|
| 1 | 日本 | 横浜 | 11 | 中国 | 蘇州 |
| 2 | アメリカ | サンフランシスコ | 12 | トルコ | ガジアンテップ |
| 3 | イタリア | ボローニャ | 13 | フィリピン | イロイロ |
| 4 | インド | バルカラ | 14 | フィリピン | サン・フェルナンド |
| 5 | ガーナ | アクラ | 15 | ブラジル | フロリアノポリス |
| 6 | ケニア | キスム | 16 | マラウイ | リロングウェ |
| 7 | スリランカ | デヒワラ | 17 | マレーシア | ジョージタウン |
| 8 | タンザニア | ダルエスサラーム | 18 | マレーシア | クアラルンプール |
| 9 | 中国 | 杭州 | 19 | メキシコ | サポパン |
| 10 | 中国 | 三亜 | 20 | モロッコ | シェフシャウエン |

【出典】「ごみゼロ諮問委員会」(Advisory Board on Zero Waste) ウェブページ

<https://unhabitat.org/advisoryboardzerowaste>

次頁あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



※4【「20 Cities Towards Zero Waste」選定基準】

以下の9つの評価項目に基づく評価によって選定されました。

- | | |
|---------------|----------------|
| ① インパクトと持続可能性 | ⑥ イノベーションと技術 |
| ② 広報・市民啓発 | ⑦ 財務の持続可能性 |
| ③ 都市レベルの政策 | ⑧ スケーラビリティと移行性 |
| ④ パートナーシップと協力 | ⑨ モニタリングと報告 |
| ⑤ 包摂性と社会的公平性 | |

お問合せ先

(先進 20 都市「20 Cities Towards Zero Waste」の選出に関すること)

脱炭素・GREEN×EXPO推進局戦略企画課グローバル担当課長

安養寺 智 Tel 045-671-4933

(国連機関との連携に関すること)

国際局グローバルネットワーク推進課国際技術協力担当課長

横内 宣明 Tel 045-671-4712



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

